

東京都足立区立第十中学校
第1学年出張授業講義資料

なぜ私たちは働くのか
— 働く意義、目的を考える—

公益社団法人経済同友会
幹事 林 明夫
(株式会社開倫塾、代表取締役社長)

日時：2016年12月7日(水)

11：15～12：05

場所：東京都足立区立第十中学校

お読みになりやすいように、QandA の形で資料を作成いたしました。参考になると思われるところには下線等を引き、後で読み返して自分のものとしてお役に立ててください。

Q 1 : この授業の目的は何ですか。

A : 3つあります。

- (1)出張授業を通して、働くことへの意識を高め、進路選択の基礎学習を行うこと。
- (2)なぜ私たちは働くのか、働く意義(意味)、喜びを講師の経験を通して知ること。
- (3)なぜ私たちは学校で勉強し、身体を鍛え、社会に出る準備をし、やがて仕事に就くのかを自分の力で考えるきっかけを作ること。

Q 2 : それでは、お聞きします。林さんが今やっている仕事や社会的活動は何ですか。

A : いくつかありますので、ご紹介します。

(1)開倫塾 塾長、代表取締役 社長

*小学生・中学生・高校生を対象に、群馬県・栃木県・茨城県に 60 校舎を展開する学習塾の経営責任者です。

(2)学校法人 有朋学園 有朋高等学院 理事長

*福島市にある高等学校の経営責任者です。

(3)社会福祉法人 両崖福祉会 特別養護老人ホーム 清明苑 監事

*足利市にある介護施設の役員です。

(4)宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授

*理工系の大学生や大学院生 社会人に教えています。

(5)マニー株式会社 社外取締役 (2004 年～ 2010 年)

*手術用縫合針製造、宇都宮市に本社、ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャンに現地法人があります。

(6)開倫ユネスコ協会 会長

*「戦争は、人の心の中で起きるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」(ユネスコ憲章)

(7)「林明夫の歩きながら考える」というラジオ番組(毎週土曜日 9:15 ~ 25)を CRT 栃木放送で担当

* 2017 年 3 月で、31 年目に入ります。



Q 3 : いろいろなことをやっているのですね。では、今日の本題に入ります。なぜ私たちは働くのですか。働く意義、喜びとは何ですか。林さんの考えを聞かせてください。

A : 働くということばよりも、仕事をするということばのほうが好きなので、仕事ということばを使わせていただきます。

(1)なぜ私たちは仕事をするのかを考えると大切なのは、仕事とは何かを考えることです。

(2)すべての仕事にはお客様がいます。仕事を行い、お客様に提供するのとは何か。もの(製品)やサービスです。

(3)お客様がもの(製品)やサービスに求めるものは何か。それは、お客様の問題を解決するのに役立つことです。例えば、あるお客様が昼頃にコンビニに行くのはなぜか。お腹が空いているので、お昼の食事を買うためかもしれませんね。薬局に行くのはなぜか。病気を治す薬を買いに行くためです。お腹が空いている、病気を治すという問題を解決するために、コンビニや薬局を訪れます。

(4)このように、仕事はお客様の問題を解決するために行うものだと私は考えます。「仕事とは、お客様の問題を解決し、お客様のお役に立つこと」だと考えます。

(5)よく考えれば、同じような問題を抱えるお客様は、社会にたくさんいらっしゃいます。そこで、お客様の問題を解決することは、社会の問題を解決することにも役立つと考えられます。このように、仕事とは、お客様のお役に立つこと、同時に、社会のお役に立つことでもあります。

(6)お客様の問題を解決することで、お客様のお役に立ち、同時に、社会のお役に立つ。そうして、少しずつお客様や社会からの信頼を得て、安心して仕事をお任せいただく。これが、仕事をすることの意義(意味)、目的、喜びだと考えます。

(7)ただし、お客様の問題を解決できなければお客様のお役に立てず、仕事をしたことにはなりません。結果が出なければお客様や社会の信頼を失い、お客様はいなくなってしまう。

Q 4 : お客様や社会のお役に立つことのほかに、仕事をする意義(意味)はありますか。

A : 大切なことがもう1つあります。それは、仕事をするだけで生活できるだけの収入を得ることです。



Q 5 : 仕事をするうえで大切なことは何ですか。

A : 仕事をするうえで考えなくてはならないことは、次の4つです。

- (1) お客様の問題を解決するには、どのような内容の「もの(製品)やサービス」を提供したらよいか。
- (2) お客様の買いやすい「価格」で提供するにはどうしたらよいか。
- (3) お客様に便利な「場所」で提供するにはどうしたらよいか。
- (4) どのように「PR」したらよいか。

*このようにもの(製品)やサービスを提供してはじめて、お客様や社会のお役に立つことができるといえます。

*競争相手も、日本だけでなく、世界中にたくさんいます。予想もしないような自然災害や出来事も発生します。これらの困難を、力を合わせて1つ1つ乗り越えていかなければなりません。



Q 6 : 中学校や高校時代の勉強は、社会に出て役に立つのですか。

また、学校での教科以外の教育活動は社会に出て役に立つのですか。

A : すべて役に立ちます。

- (1) 小学校の勉強が中学校で役に立っているように、中学校の勉強は高校ですべて役に立ちます。高校での勉強は大学や短期大学、専門学校、専修学校ですべて役に立ちます。
- (2) 中学校、高校、大学など学校での勉強は社会に出てすべて役に立ちます。
- (3) 学校での教科以外の教育活動も、社会に出て仕事や社会的活動をするうえで、また、充実した生活・人生を送るうえですべて役に立ちます。
- (4) ですから、学校で用いた教科書や教材、辞書、地図帳、歴史年表などは決して処分せずに保管し、社会に出てからも一生かけて繰り返し学び直してくださいね。

Q 7 : 中学校や高校で身に着けたほうがよいことは何ですか。

A : (1) 「主体的に学ぶ力」と「効果の上がる学習の仕方」です。社会に出てからは、学校のような先生がついての授業なしで、主体的に(自分から進んで)一人で学ばなければならないことがたくさんあるからです。そのために、「音読練習」と「書き取り練習」を。



(2) 「大切なことをメモする力」です。仕事に教科書はありません。大切なことをメモし続け、そのメモを整理して繰り返し学び直すことで、仕事を身に着けることができます。学校の授業中に大切なことをメモし、授業後にメモを整理して繰り返し読み直し、知識を定着させることは、社会に出てからもメモを取り続け、仕事に生かすのに役に立ちます。

(3)「予習の習慣を身に着ける」ことです。仕事や社会的活動をするときには、課題を発見し、その課題を解決するために自分の力で調べ、それを自分の力でまとめ上げたうえで関係者と議論し、どうするかを考えることが大切です。中学校や高校時代に各教科の教科書や教材、問題集を自分の力で予習し、わからないことがあれば図書館などで調べてから授業に臨む。この予習の習慣を身に着けることは、社会に出てから役に立ちます。

(4)『5S』（ごえす）を身に着ける」ことです。

- ①「整理」 seiri ……不要なものを捨てる
- ②「清掃」 seisou ……きれいに掃除(そうじ)する
- ③「整頓」 seiton ……ものはいつも同じところに置く
- ④「清潔」 seiketsu ……いつも①～③を保つ
- ⑤「躰」 shitsuke ……自分から進んで行く

*別の意味での「躰」（しつけ）も身に着けましょう。

- ①「美しい立居振舞い(たちいふるまい)」
 - *服装、元気なあいさつも大事
- ②「敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)」
 - *「です・ます調」で話せること



(5)「読書、新聞、辞書を活用すること」です。図書館を活用して、本をたくさん読みましょう。新聞を毎日読みましょう。辞書をどんどん引きましょう。

- ①書き抜き読書ノートを作る
- ②スクラップブックを作る
- ③意味のわからないことばは、気持ちが悪いと思い、辞書で調べる

Q 8 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)友達のよさ、学校のよさ、足立区のよさ、東京のよさ、日本のよさなど「よいところ」を見つけよう。「自分のよさ」も見つけ、どんどん伸ばそう。

(2)私の好きなことばを紹介します。

- ①「ブルドッグ魂(だましい)一食いついたら離すな」
- ②「練習で泣いて、試合で笑え」
- ③「一所懸命(一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組もう)」
- ④「教育ある人とは(一生)勉強し続ける人」
- ⑤「一生勉強、一生青春」



(3)「健康第一、身体健康、心の健康を大切に、無理のない人生を歩もう」

*ご質問がありましたら、何でも自由にしてください。

感謝